



学校長ご挨拶

姫路市医師会看護専門学校の在校生そしてご父兄及び卒業生の皆様、令和6年6月より前任の山本一郎先生から学校長を引き継ぎました。本校は平成17年4月に開校し、約20年が経過します。今年为天姫祭では20周年記念事業の特別企画として「よしもお笑いライブ」がイーグレ姫路あいめっせホールで開催されました。テレビなどで活躍中のミルクボーイをお招きし、漫才とトークショーで楽しい時間を過ごすことができました。また来春の入学式では創立20周年記念事業も計画されています。新入生、在校生だけでなく、日頃お世話になっている講師の先生や臨地実習先の関係者の方々を招待し、記念講演会など行う予定です。



学校長
三和 秀輔

20年も経過しますと一見きれいに見える校舎もいたるところにひび割れなどが認められます。大規模修繕は計画されていましたが、間に合わず、4月の播磨地方を襲った降雹も一因の体育館の雨漏りが発生しました。雨漏りといっても床全体が水浸しになり、天井のボードの脱落などひどい状況でした。体育館は入学式など重要な行事だけでなく、日頃の授業にも使用するため早急の修繕が必要で、何とか「宣誓式」には間に合わせることができました。この20年、多くの関係者のご努力などで学校運営はおこなわれました。今後10年、20年と当校が地域医療に貢献する看護師を輩出するには職員はもちろんのこと、在校生や卒業生の医療現場での活躍が必要と考えます。

創立20周年を迎えるにあたって



副学校長代理兼教務主任
川渕 まゆみ

本校が平成17年4月に開校して以来あっという間の20年で、開校当時を知る教員は、小野寺教員と私の2名だけとなりましたが、卒業生は1,445名を数え皆それぞれ様々な場所で活躍されていることを非常にうれしくまた心強く思っています。

学校の学習環境は、この20年で大きく変化しました。学生のテキストは、iPadとなり、重いテキストを何冊も持ってきて国家試験勉強をしていた頃が懐かしい限りです。Wi-Fi環境は充実し、学生は調べたいことをすぐにネットで調べることができ、知識の充実を図ることができています。

モデル人形も初代さくらさんから今は多職種連携ハイブリッドシミュレーターの導入が叶い、さらに同窓会から1体ご寄贈いただいております。在校生はこれら最新の機器を使って、より充実した看護の学びにつなげています。教員もより効果的な学びができるよう、研鑽を重ねています。

今後も姫路市医師会看護専門学校は、時代に合わせた最新の学習環境で、学生の学びを支援し、地域社会の保健医療福祉に貢献できる看護師を育成し続けていきます。

学 校 行 事 の 記 録

令和6年度 オープンキャンパス

昨年度より、より多くの方々に本校の魅力を知っていただこうと、オープンキャンパスの日程を増やしました。

今年度は、6月15日(土)、8月6日(火)、7日(水)、8日(木)、21日(水)、22日(木)、9月7日(土)、12月14日(土)が実施済みです。合計で136名の方が参加されました。

全日程において参加者からは「オープンキャンパスの内容に満足した」という感想をいただきました。また、「先輩達が親切で話しやすかった」「充実した看護体験を受けることができた」「模擬授業がすごく分かりやすかった」などの感想もいただき、本校の特色を実感していただけたようです。

■ 次回のオープンキャンパス開催日時

令和7年3月8日(土)、26日(火)、27日(水)

※いずれも時間は9時30分～12時

お申し込みは本校のホームページまたは
お電話をお願いします。



TOPICS

姫路別所高校 バス見学会

9月18日(水)、兵庫県立姫路別所高校の2年生24名が、バス見学会(バスで複数の学校を訪問・見学)で本校を訪れ、学校の概要説明や施設内の見学、看護体験などを行いました。



高岡中学校 トライやるウィーク

6月5日(水)、姫路市医師会へのトライやるウィークを希望した姫路市立高岡中学校の2年生4名が来校し、沐浴や血圧測定などの看護技術の体験や授業を見学しました。



関西看護学生研究大会

10月23日(水)関西看護学生研究大会が神戸文化ホールで開催され、本校の2年次生73名と発表者の安木ひよりさん(3年次)が参加しました。

発表テーマ 対象者の強みを活かした看護 セルフマネジメント能力へのアプローチとは

こんなに大勢の前で発表するのは初めてだったので緊張しましたが、研究発表を通じて自分の看護実践を振り返ることや、他の学生の発表から新たな学びを得ることができ、今後の看護実践において重要な自己の看護観を深めることができました。ここでの学びをしっかりと今後の実践に活かし、最善の看護を提供していきたいです。

■ 3年次 安木 ひより



テーマは「Power of Smile～みんなの笑顔で地域を笑顔に～」

今年度の天姫祭は、第20回の記念大会となりました。

「Power of Smile～みんなの笑顔で地域を笑顔に～」をテーマに、文化祭委員が中心となり、誰もが楽しめる企画を考え、2日間の日程で開催しました。



天姫祭1日目(10月18日(土))は、あいめっせホールにて、クラス発表、第20回記念セレモニー、よしもお笑いライブを開催しました。

クラス発表は、ダンスや合唱、着ぐるみを着てのラジオ体操など、各クラスの持ち味を発揮し、ステージを彩りました。

記念セレモニーには、姫路市医監の牛尾光宏様、姫路市医師会の役員理事にご出席いただき、大会に花を添えていただきました。

よしもお笑いライブでは、漫才師のミルクボーイと令和喜多みな実の河野氏をお迎えし、漫才&トークショーを開催しました。

会場は大変盛り上がり、思い出に残る記念大会となりました。



天姫祭 20周年記念

天姫祭2日目(10月19日(土))は、学校を一般の方々にも開放し、模擬店や看護体験などの催し物を行いました。

模擬店は、焼きそば、チキンナゲット、チュロスなど、屋食やおやつにぴったりのメニューを提供し、看護体験コーナーでは、赤ちゃん抱っこや、聴診器体験、臓器パズルや看護クイズなどを実施しました。

また、防災に役立つ知恵を紹介する「災害DIY」や「町の防衛隊！」など、20周年を記念して新たなコーナーも設けました。

今回の天姫祭では、令和6年元日に発生した石川県能登半島地震被災地支援として、募金活動を実施しました。お預かりした支援金は、日本赤十字社を通じて寄付いたしました。ご協力、ありがとうございました。

外部出店としては、「はりまふくろうの会」、「菜の花」、「りぶるす」、「ハーモニー」、「ひまわりパン」、「樫の詩」、「ユニセフ兵庫支部」、献血・骨髄バンク登録関係者の皆様にもご参加いただき、天姫祭を盛り上げていただきました。皆様、ありがとうございました。



今年は、20回の記念の年で例年より力を入れて盛大な天姫祭を作り上げられるよう委員長として努めました。当日は雨模様でしたが、地域の人々にも楽しんでもらえた天姫祭を作り上げることができました。天姫祭を通じて連携をすることでより良いものを作り上げられることを実感できました。この経験を今後活かしていきます。

■ 第20回 天姫祭実行委員長 八木 彩音

令和6年度 宣誓式

11月16日(土)、令和6年度宣誓式を執り行いました。

点灯の儀では、1年次生79名がナイチンゲール像から灯火を受け継ぎ、ナイチンゲール誓詞の唱和を行いました。

ご出席いただいた姫路市の岡本副市長には姫路市長の祝辞を代読いただき、「今後の臨地実習が実り多きものとなり、看護師として素晴らしい人生を切り開かれますことを期待します」という励ましのメッセージを届けていただきました。

1年次生は、引き締まった表情でこれから始まる臨地実習に向けて決意を新たにしました。



学 業 の 記 録

～実習を振り返って～

基礎看護学実習を通して、患者さんとのコミュニケーションや基本的な看護技術の重要性を実感しました。講義では学べない緊張感のある現場に行き、看護の責任感とやりがいを改めて感じました。

患者さんからの感謝の言葉や応援の言葉にとっても励まされ、今後も知識と技術を高めていきたいという目標も持つことができました。



1年次 山岸 拓歩

今回の基礎看護学実習Ⅱでは、受け持ちの患者さんに足浴を行いました。足浴を行う場所が考えていたところとは異なっており、実践してみないと苦痛と感じていることが学生と患者さんとは違うため、多角的な視点でケアを実践することが重要だと学びました。また、患者さんにしか感じない効果があるため、その時の感情などを受け止めることが大切だと学びました。



2年次 山南 陽花

援助をした後に患者さんから言ってくれた「ありがとう」の一言は大きなやりがいと、もっと頑張ろうという力に繋がっていました。患者さんの疾患や病態についての知識だけでなく、毎日の関わる時間の中からニーズを見出し、個別性のある看護をすることの大切さを学びました。

最初は不安と緊張でいっぱいでしたが、グループメンバーと支え合いながら、どんな時も思いやりを持って看護をすることが大切だと学びました。

3年次 岡 瑠奈穂



セミナー、研修会開催のご報告

看護力アップセミナーを開催しました。

本セミナーは、医療現場で活躍されている看護師のスキルアップ、看護学生为国家試験合格を目指した学外研修、休職中の看護師の方の職場復帰に向けた支援を目的として開催しています。

**看護力アップ
セミナー**

看護技術、
再チャレンジしよう!

活躍中の
看護士の方の
スキルアップ

休職中の
看護士の方の
職場復帰

看護学生の
国家試験合格を
目指した
学外研修

のためのセミナーです。

令和6年度 第1期

PART 1 7.6 ±
14:00~16:00
採血・点滴静脈注射・
輸液ポンプ・
シリンジポンプに
ついての基礎的知識

講師：本校専任教員 主任
寺内 かおり 氏

会場：3階視聴覚室

PART 2 7.13 ±
14:00~16:00
基礎的知識の確認
看護技術の実際

・採血の実際 Part1
・点滴静脈注射の実際 Part1

講師：社会医療法人三栄会
ツカザキ病院
看護部教育支援室 主任看護師
木内 万寿美 氏
一般外来 看護補助員
村上 由佳子 氏

会場：3階視聴覚室 第1看護実習室

PART 3 7.20 ±
14:00~16:00
基礎的知識の確認
看護技術の実際

・採血の実際 Part2
・点滴静脈注射の実際 Part2
・輸液ポンプ・シリンジポンプの操作の実際

講師：社会医療法人三栄会 ツカザキ病院
看護部教育支援室 主任看護師
木内 万寿美 氏
看護部 TAVIコーディネーター
関尾 絵理子 氏
臨床工学科 准士長
津田 克哉 氏

会場：3階視聴覚室 第1看護実習室

第1期となる7/6、13、20のセミナーは、「看護技術、再チャレンジしよう!」をテーマに開催しました。延べ参加者数は17名でした。

段階を踏んでステップアップできるよう、初日に基礎的知識を学習し、2日目、3日目にかけて、採血や点滴静脈注射、輸液ポンプ・シリンジポンプの操作の実践を、本校の最新機器(教材)を用いて行いました。

参加者からは、「知らない知識や忘れていた事もあり基礎的なことは何度も振り返る必要があると思う」「久しぶりに採血とルート確保をして新しい針について学ぶことができた」「最新の機器はとても使いやすかった」などの感想をいただきました。

第2期となる11/30、12/7、14は、「医療安全」をテーマに開催しました。延べ参加者数は29名でした。

初日に「医療安全の基本的な考え方」を改めて学習し、「診療の補助」、「療養上の世話」といった具体的かつ遭遇する機会の多い状況における医療事故防止について、事故防止の対策を中心とした内容で実施しました。

参加者からは、「事故報告をして損をしない、責められないように環境を整えたい」「マニュアルなどを風化させないことが一番の医療安全につながると思った」「転倒が多い病棟なのでKYTを使用していろんな対策を立てていきたい」などの感想をいただきました。

**看護力アップ
セミナー**

医療安全

活躍中の
看護士の方の
スキルアップ

休職中の
看護士の方の
職場復帰

看護学生の
国家試験合格を
目指した
学外研修

のためのセミナーです。

令和6年度 第2期

PART 1 11.30 ±
14:00~16:00
医療安全の
基本的な考え方

講師：本校専任教員 課長補佐
小野寺 洋子 氏

会場：本校3階視聴覚室

PART 2 12.7 ±
14:00~16:00
診療の補助における
医療事故防止の実際

・事故の実際とその原因から考える対策

講師：兵庫県立はりま姫路総合医療センター
医療安全部次長兼看護部次長
堀江 香織 氏

会場：本校3階視聴覚室

PART 3 12.14 ±
14:00~16:00
療養上の世話における
医療事故防止の実際

・事故の実際とその原因から考える対策

講師：社会医療法人財団聖フランシスコ会
姫路臨マリヤ病院
医療安全推進者
松本 正美 氏

会場：本校3階視聴覚室

